



NEWS, TOPICS, INFORMATION, OPINION & EDITORIAL

「刀剣評価鑑定士」 早わかりQ&A

■全国刀剣商業協同組合では「刀剣評価鑑定士」認定事業の開始に向けて鋭意準備を進めていますが、その内容について問い合わせが相次いでいます。そこで、資格制度のポイントをまとめてみました。この資格の普及と発展に向けて、皆さまのご理解とご協力をお願いします。

Q 当組合がなぜ資格認定事業をやるのですか？

A 刀剣商の専門資格を創設することにより、刀剣商に対する社会の信頼性を高めたい。お客さまから安心して刀剣の評価鑑定が依頼されることを目的とします。つまり刀剣商に対する認識と評価が高まっていくような資格を目指します。刀剣商の地位の向上と安定を図っていくには、当組合の設立の理念にも合致するものです。

Q この資格は公的なものですか？

A 公的資格とは、国家資格と民間資格の中間に位置づけられる資格です。国家資格は国が認定する資格であるのに対し、公的資格は民間団体や公益法人が実施し、文部科学省や経済産業省などの省庁や大臣などが認定する資格です。

る資格です。民間団体の主催ですが、信用度や知名度の高い資格が数多くあります。「刀剣評価鑑定士」資格も、皆さまの協力を得て将来的に公的な資格への認定を目指します。

Q この資格にはどんな価値があるのでしょうか？

A 現在は古物商の許可を得れば刀剣の売買はできますが、刀剣の評価鑑定をしてもらうには、「刀剣評価鑑定士の資格を持つ人であれば安心できない」と世間から言われるような権威ある資格になるよう、普及に努めます。資格にどれだけの価値が生まれるかは、皆さまの協力次第とも言えます。

Q 組合員以外にも受験資格はありますか？

A 組合員・賛助会員でない方に受験資格はありません。まずは当組合に加入させていただきます。

2017.5.15 No.35

発行人 深海 信彦
発行所 全国刀剣商業協同組合 編集委員会
〒169-0072 東京都新宿区大久保2-18-10
新宿スカイプラザ1302
TEL:03(3205)0601 FAX:03(3205)0089
http://www.zentoshou.com/

第35号編集担当
赤荻 稔 伊波 賢一 嶋田 伸夫 清水 儀孝
生野 正 瀬下 明 瀬下 昌彦 玉山 真敏
土子 民夫 網取 譲一 土肥 富康 服部 暁治
深海 信彦 松本 義行 冥賀 吉也 持田 具宏

認定事業担当
赤荻 稔 飯田 慶久 伊波 賢一 大平 岳子
木村 義治 佐藤 均 瀬下 慎男 嶋田 伸夫
清水 儀孝 生野 正 瀬下 明 土子 民夫
網取 譲一 土肥 豊久 服部 暁治 深海 信彦
松本 義行 冥賀 吉也 持田 具宏 吉井 唯夫

Q 受験資格に制限はありますか？

A 受験するには、当組合の組合員か賛助会員であることが必須です。加えて、趣旨に照らし、刀剣商としての経験が重要であることから、十年以上の組合加入歴があること、かつ古物商許可証を取得して十年以上経ている方が対象になります。ただし、上記に満たない場合でも資格認定委員会に申請し、特に承認された方は対象になります。



「刀剣評価鑑定士」の資格証入れケース

Q どんな形式の試験でしょうか？

A 刀剣の評価鑑定に必要な能力を測定するために、二者択一問題を百問出題し、六十分で回答していただき、正解八十問以上を合格とします。

Q どんな内容の問題ですか？

A 法令関係(銃砲刀剣類所持等取締法・古物営業法・特定商取引法・消費者契約法など)、刀剣の知識、刀装具の知識、甲冑・武具の知識、作刀・刀職の知識、評価・鑑定知識など幅広い内容で出題されます。

Q 問題の作成や採点、運営に当たるのはどんな方たちですか？

A 組合の理事・監事および理事会で任命される外部委員(第三者)を含む資格認定委員会が実行機関です。

Q どんな受験勉強が必要でしょうか？

A 刀剣商歴をおおむね十年以上持つ人を基準として、問題を作成します。常識的な知識のほか、法令などには改定された内容も含まれますから、事前に発行されたテキストを活用されることをお勧めします。組合員全員がこの資格を保有されることを目指します。

Q 資格取得に要する費用はいくらぐらいですか？

A テキストを含めて受験料が二万円、資格取得時五万円が必要になります。また資格制度の充実および維持管理を図るため、五年ごとに更新するシステムを採用します。更新手数料は三万円を予定しています。資格の普及活動や、制度の充実、資格の活用支援なども積極的に行っていきます。ご理解をお願いします。

Q 資格者に義務などはありますか？

A 特別な義務はありません。ただし、資格の普及を図り、信頼性を高めるため、資格証の携帯と刀剣評価鑑定時にお客さまに対して資格証の提示をしていただく必要があります。

(続く)

刀剣・書画・骨董

和敬堂

土肥豊久・土肥富康

〒940-0088 新潟県長岡市柏町1-2-16
TEL 0258-33-8510
FAX 0258-33-8511

<http://wakeidou.com/>

美術刀剣・刀装小道具商

やしま

齋藤雅稔・隆久・隆洋

刀装小道具通信販売目録「やしま」
年間10回位発行予定
購読料10回 2,000円(郵便切手可)

〒202-0022 西東京市柳沢6-8-10
TEL 042-463-5310
FAX 042-463-7955

金工・刀身彫刻・修理・諸工作一式

柳匠堂

柳村宗寿

岡山市北区平和町二一八
TEL 〇八六-二二三-二二九九
工房 岡山市北区磨屋町七二二
TEL 〇八六-二二三-二二九九
FAX 〇八六-二二三-二二九九

刀剣古美術

三峯美術店

町田久雄

埼玉県秩父市野坂町一十六六一
西武秩父駅連絡通路町久ビル内
TEL 〇四九四-二二三-三〇六七
FAX 〇四九四-二二三-三〇六七

美術刀剣、小道具、武具類の
売買、加工及び御相談承ります

大阪刀剣会

吉井唯夫

大阪市中央区日本橋二一七一
TEL 〇六一六六三一-二二二〇
FAX 〇六一六六四四-五四六四

輸出刀剣の登録証の返納義務について

刀剣を輸出する際に「古美術品輸出鑑査証明」が必要なのは皆知のことであると思うが、刀剣輸出後の登録証の返納義務については皆さんご存じだろうか？今回はそこにポイントを当てたいと思う。

文化庁に輸出鑑査証明を発行してもらい、銃砲刀剣類を輸出した後、銃砲刀剣類登録証は発行された都道府県の教育委員会に返納しなければならない。銃砲刀剣類所持等取締法によると、

「第十六条 登録を受けた銃砲又は刀剣類を所持する者は、次の各号のいずれかに該当するに至つては、速やかに登録証を教育委員会に返納する義務があるのだ。

- 一 登録を受けた銃砲又は刀剣類を所持する者が、次の各号のいずれかに該当するに至つては、速やかに登録証を教育委員会に返納する義務があるのだ。
- 二 本邦から輸出したため当該銃砲又は刀剣類を所持しないこととなった場合
- 三 亡失し、又は盗み取られた登録証を回復した場合

■全刀商の活動 組合の査定・買い入れ状況報告

ここ数年、三カ月か四カ月ごとに組合交換会において、組合が買い入れた刀剣類のオークションがあります。この売却益が組合運営の資金の一部になっていることはご存じかと思ひます。交換会に参加する組合員の皆さんもそれを承知して、懸命に競り上げて落札してくれているようです。

平成二十八年度はおよそ百振、六百万円の買い入れがありました。過去には統計を取っていなかったため詳細は不明ですが、本格的には毎年百振前後と思われる。大海の一滴かもしれませんが、組合活動の一部を支えていること

は紛れもない事実です。また、組合の公的使命の一つである刀剣の評価査定も、結果としてかなりの収益になっています。相続に際しての評価依頼が多く、弁護士や税理士さん経由がしばしばですが、直接ご家族からの申し込みもかなりあります。一般の刀剣店では対価を得にくいと思ひますが、組合では評価査定料を堂々と提示して頂いています。

登録証にまつわるさまざまな問題は業界全体の懸案ですが、買い入れの際には刃切れなどの発見とともに、特に登録証の記載事項と現物とに不一致はないか、注視することが重要です。担当理事は毎回、組合のため、刀剣業界のためを願って、刀剣類の査定・買い入れ事業に取り組んでいます。

組合こよみ (平成29年3~4月)

- 3月1日 銀座刀剣倶楽部会場で『刀剣界』第34号編集委員会(再校)、「刀剣評価鑑定士」実行委員会を開催。出席者、深海理事長、冥賀副理事長、清水専務理事、服部常務理事、赤坂理事、嶋田理事、生野理事、瀬下理事、持田理事、大平監事、木村監事、土子氏
- 6日 銀座長州屋において『刀剣界』第34号編集委員会を開催(念校)、出席者、深海理事長、服部常務理事、生野理事、嶋田理事、土子氏
- 17日 東京美術倶楽部において組合交換会を開催。出席者53名、出来高12,004,500円
- 17日 東京美術倶楽部において『刀剣界』第35号編集委員会(企画)、「刀剣評価鑑定士」実行委員会を開催。出席者、深海理事長、清水専務理事、伊波常務理事、服部常務理事、赤坂理事、嶋田理事、生野理事、瀬下理事、網取理事、持田理事、大平監事、木村監事、土肥富康氏、土子氏
- 4月1日 銀座刀剣倶楽部会場で『刀剣界』第35号編集委員会(企画)、「刀剣評価鑑定士」実行委員会を開催。出席者、深海理事長、服部常務理事、赤坂理事、嶋田理事、生野理事、瀬下理事、網取理事、持田理事、大平監事、木村監事、土子氏
- 17日 東京美術倶楽部において31期第1回理事会を開催。出席者、深海理事長、嶋田副理事長、冥賀副理事長、清水専務理事、伊波常務理事、赤坂理事、飯田理事、嶋田理事、生野理事、瀬下理事、網取理事、土肥理事、松本理事、持田理事、大平監事、木村監事、土子氏
- 17日 東京美術倶楽部において『刀剣界』第35号編集委員会(初校)、「刀剣評価鑑定士」実行委員会を開催。出席者、深海理事長、冥賀副理事長、清水専務理事、伊波常務理事、赤坂理事、飯田理事、嶋田理事、生野理事、瀬下理事、網取理事、松本理事、持田理事、大平監事、木村監事、土肥富康氏、土子氏

平成28年の刀剣類査定・買い入れ状況

日付	担当者	査定・買取	種別
4月5日(火)	清水・服部	査定	刀3振
		買取	刀1振 脇指1振
4月15日(金)	清水・嶋田	査定	刀1振
		買取	刀3振
5月31日(火)	深海・服部・網取	買取	刀2振
6月6日(月)	清水・服部	買取	刀4振
		買取	脇指3振
6月15日(水)	清水・服部	査定	刀1振
		買取	刀1振
6月18日(土)	清水・生野	買取	刀6振
		買取	脇指2振 短刀2振
6月28日(火)	清水・嶋田	出張査定	刀6振
		査定	刀1振
7月5日(火)	清水・服部	買取	刀1振
		買取	太刀1振
7月22日(金)	清水・服部	出張買取	刀5振
		出張買取	脇指1振 短刀5振 槍3本
8月5日(金)	網取・持田	査定	刀1振
		買取	刀1振
8月20日(土)	清水・服部	買取	短刀1振
		買取	脇指1振 短刀1振
9月2日(金)	深海・伊波	出張査定	刀6振
		買取	刀1振
9月15日(水)	清水・嶋田	買取	刀1振
		買取	脇指3振 短刀1振
9月23日(金)	深海・服部 網取・生野	買取	刀1振
		買取	脇指3振 短刀1振
10月5日(金)	服部・生野	査定	刀3振
		買取	脇指3振 短刀3振 鐔1枚
11月10日(水)	清水・服部	査定	刀6振
		買取	脇指1振
11月21日(月)	赤荻・大林	買取	刀2振
		買取	短刀1振 脇指2振 他
11月22日(火)	赤荻・大林	買取	刀3振
		買取	脇指3振 短刀2振 拵
11月24日(水)	深海・伊波・嶋田	出張査定	刀22振
12月5日(月)	清水・服部	査定	刀1振
12月9日(金)	清水・服部	出張査定	刀6振
1月9日(月)	吉井	買取	刀1振
1月30日(月)	清水	買取	脇指1振
2月3日(金)	清水・服部	査定	刀1振
		買取	刀1振
2月6日(月)	清水・服部	出張買取	刀5振
		出張買取	脇指8振 短刀9振 小道具他
2月16日(水)	吉井	買取	刀3振
2月18日(土)	清水・服部	買取	脇指1振
		買取	短刀1振
2月22日(水)	清水	買取	刀1振
		買取	脇指2振
3月3日(金)	清水	買取	脇指2振
		買取	脇指2振
3月7日(火)	清水・服部	査定	刀2振
		買取	脇指1振
3月18日(土)	嶋田・生野	査定	刀3振
3月22日(水)	持田	出張買取	刀1振
3月23日(木)	猿田	査定	刀8振

「登録証問題」を考える ⑧

事例⑮

神奈川県登録の刀剣を譲り受け、全国刀剣商業協同組合発行の銃砲刀剣類名義変更用紙に記載していただくこと、中心の目釘穴を埋めたような跡があるのに気づきました。登録証は目釘穴の数が1個になっていますが、本来は「目釘穴2個1個埋め」とするつもりです。

また、輸出鑑査証明が発行されること、その内容は教育委員会から公安委員会に通知が行くことになっている。

これからさらにグローバル化が進み、海外に輸出する機会が増えることが予想される、輸出の際の事務手続きには、くれぐれも漏れがないことを願う。(土肥富康)

か、厄介なと思いました。その後の処理の手順として、現物確認申請書を神奈川県教育委員会に提出し、神奈川県から東京都教育委員会に現物確認依頼、東京都教育委員会から主に銃砲刀剣類登録審査会の開催連絡、銃砲刀剣類登録審査会に当該物件を持参し審査を受ける。東京都から神奈川県に結果報告、ということになりました。

結果は、当時の登録審査委員の記載ミスとわかり、無料で登録証を発行していただきました。神奈川県教育委員会の担当者のわかりやすい説明、またスピーディーな対応に感謝します。(登録証問題研究会)



小野家にて敬博氏(右)と

今日の俺の行き先は藤沢市辻堂。研師の小野敬博氏を訪ねる。研師の中では重量級の男。すぐに思い出したのは長野編根津刀匠のとき触れたツール・ド・フランスの難所モンバントゥを制した、坂を登れるのが不思議なくらいの巨漢レーサー、エロス・ポリー選手の二世二代の逃げの成功。戸塚駅から国道へ合流する坂ごときでこれを思い出す俺は、確実に爺さんサイクリストになってきているな。

が、この原稿は約束を四日も過ぎている。俺どうしよう。氏は続ける。今はこの仕事が好きだとしみじみと感じる。と同時に、自分を支えてくれる人たちがいる。それは母や姉妹はもちろんだが、自分の父親の訃報に電話の向こうで涙してくれる、友人であり、ライバルでもある研師仲間たちも、と。

温かく見送られ小野家を後にした俺は帰り道、上り坂は少ないのにまたプロバンスの死の山モンバントゥを制した別の選手を思い出した。二〇〇三年ツールでこのステージ優勝が遠のくりンシャル・ピランク選手(仏)。ゴールでは唇をかすめた人差し指を天に突き上げるポーズで銀輪のアラン・ドロンの名前をアピル。

辻堂駅から住宅街に入っしはら、このころが、彼の自宅兼職場。現在は品の良いご母堂と二人暮らし。祖父の人間国宝の小野光敬氏の博柳氏の遺志はここに息づいている。

聞けば昨年九月に父を亡くされ、仕事の引き継ぎや整理などに追われ、この三月十九日には東京都の銃砲刀剣類登録審査委員として初登壇。多忙なスケジュールの中、四月十三日締め切りの公益財団法人日本刀文化振興協会のコンクール出品にも間に合わせた。一年出品を見送ることも頭をよぎったそうだが、自分に言い訳を作らないこの男らしく、継続の持つ力を信じ、徹夜で仕上げた研ぎ上げりを持ち、坂城に車を走らせた。小野氏は締め切りに間に合った

古銭 切手・刀剣 売買 評価 鑑定
株城南堂古美術店
 代表
田中 勝憲
 〒153-10051
 東京都目黒区上目黒四-3-11-10
 TEL 03-3711-0167
 03-3711-0168
 03-3711-0169
 FAX 03-3711-0167
 03-3711-0168
 03-3711-0169

ジョーちゃんの
健脚商売
 ⑫
 神奈川県藤沢市 編

『刀剣界』は隔月で発行しています。現在、キャンペーン中につき、ご希望の方に3号分を無料でお送りしています。組合員・賛助会員以外の方で購読を希望される方は、お名前・送付先・電話・メールアドレス(あれば)を書面でお知らせください。また、お知り合いで刀剣に興味のある方がいましたら、教えてあげてください。(事務局)

刀剣の故地を往く

東京都西多摩郡日の出町大久野

〈羽生事件・後編〉略奪され、返らなかつた二十余振の名刀

昭和二十年十二月に勃発した「眉毛に火のついたような」羽生事件の全容は、実は詳らかでない。往時、関係者の作成した記録があり、昭和五十年代に再発見されたらしいが、残念ながら見る機会を逸した。

今、手元にあつて参照できるのは、被害者の一人板屋胤雄氏の遺稿を家族がまとめた五十九年に発行した『思い出の日記』である。この大部な回顧録の一部には、長い愛刀家人生を偲ばせる刀と人の出会いやエピソードに加え、戦後の刀狩りや赤羽刀の選別審査、財団法人日本美術刀剣保存協会の設立などにも羽生事件の体験が記されている。

これによると、山梨県中巨摩郡五明村荊沢(現南アルプス市)の疎開先に佐藤一氏から「刀に関して重大事発生につき至急上京せうとした」との電報が届き、急ぎ東急玉川線桜新町電停近くの仮寓を訪ねた。ここは戦時中、わかもと製菓の長尾欽彌・よね夫妻から提供されたといひ、本間順治氏とともに両家の家族を郷里に疎開させ、住んでいた。

本間氏は事情があつて酒田に帰省し、不在が続いていた。確かな交渉先もつかぬまま、関係者に連絡を取りつつ、佐藤氏が独りきり舞っていた。佐藤氏は当時、都立一中(現日比谷高校)で教鞭を執るかたわら、文部省国宝調査室嘱託の立場にあった。一部始終を聞いた板屋氏は「たゞい刀は返還されずとも、

進駐軍に押収された刀剣類

所有者	太刀・刀・脇指	短刀	計
篠原三千郎	19	4	23
井手 徳一	9	6	15
三矢 宮松	37	21	58
本間 順治	23	1	24
板屋 胤雄	22	4	26
大塚	1	0	1
羽生	2	2	4
計	113	38	151

刀剣の研究を奇縁とし佐藤先生を知ったことをもって満足します」と答へ、覚悟を決めた。

押収の憂き目を見た刀の持ち主には、表にはないが、長尾と佐藤の名もある。大塚は、元内務官僚で、広島県知事・中国地方総監在任中、被爆死した大塚維精氏である可能性が高い。羽生はもちろん、当主の柳次氏であろう。

十二月十五日付の内閣官房総務課名で作成された「證明書(案)」がある。これには「法律勅令条約予算御署名原本 七拾箱 右羽生柳次次蔵 二収蔵中ナルコトヲ證明ス」とあり、まさしく政府の最重要文書類が持ち去られたとあつて、内閣が緊急に対応したことがわかる。当該文書は、当時の関係者の証言として伝わるころによれば、府中の東京競馬場に運ばれたという。これらの文書は返還されて現存するから、この證明書が功を奏したのであろう。

一方、刀の行方は全くわからなかつた。警視庁の外事係に依頼し、日比谷交差点角の旧美松百貨店ビルに駐屯する東京憲兵隊とも交渉するが、進展はない。このとき思わぬ助け船を出したのは、服部栄一氏である。たまたま第八軍憲兵司令官C.V.キヤドウェル大佐のいわば刀剣相談係を務めていた服部氏は事情を知り、大佐と会う段取りをつけた上で、本間氏に上京を促したという。

横濱の憲兵司令部で服部氏はまず「ヒューズ・マインテイナー」の本間氏を紹介した。その一言が、キヤドウェル大佐と本間氏ら刀剣関係者との信頼のきつかけを作ったとされる。十二月三十一日のことである。いったん慶應義塾大学日吉校舎の第十一師団憲兵司令部分室に集められた接収刀剣は二十一年二月八日、サルジバ

中尉が付き添ひ、トラックで上野の皇室博物館に搬入された。立ち会ったのは博物館事務官(経理課長)富士川金二氏のほか、三矢重松・宮松の兄弟、井手・本間・佐藤・板屋らの関係者であった。

一振ずつ改めていくと、刀袋と自身の相違するものや、持ち主の違つた刀が入っていたりして、米兵に手荒く扱われたことが如実である。窃取されたものも少なくなかった。篠原家新藤五国光短刀、井手家来倫国・越前下坂・五字忠吉、三矢家無銘長太刀・有俊太刀・兼光・宇多国房短刀・藤島友重短刀・肥後大塚貞国(欄間透かし)、本間家広賀短刀・虎入道雅刀、大塚家正宗などの名刀が紛失したという。この中には重要美術品も含まれるはずであるが、特定することはできない。

板屋氏は兼光・綱広・村正・若州冬広・初代忠吉・近江大塚忠広・左行秀・堀井俊秀の八振を失った。資料から、先の公文書の疎開が終戦の直前であつたのに対し、刀剣類

は前年七月十五日には持ち込みを終えていたことがわかる。その後、本間・佐藤・板屋三氏は連れ立ってたびたび手入れに通つたという。では、どういふ理由で羽生柳次氏の土蔵を借りることになったのであろうか。十九年三月ごろと推定される羽生謙一郎氏(内務省国土高総務課員)が生家(西羽生家の本家)の母に宛てた書簡に、次のようにある。



昭和21年、世田谷区深沢の宜雨荘(長尾邸)にて。左から長尾欽彌・キヤドウェル大佐・長尾よね・不明・遠田勝雄(通訳)・倉田文作(文部省)・本間順治の各氏

「此の度文部省に於て国宝、重要美術品の疎開の為三多摩方面の倉庫を借り度旨日本文部省本田氏(刀剣鑑定家)より小生に申出あり何分の尽力を求められました。

倉は一棟全部借りるか、二階だけでも結構とのこと(但し二階だけと言ふ風に倉の一部を借りる場合は一階と二階が鍵で閉まる様でなければ不可とのこと)

倉は東京都が借りて文部省が都に補助金を出し、都が倉の所有者に借賃を払ふこと

倉には番人を二人つけること。番人には若干手当を都から出すこと

番人は地元の人で信用できる人ならよいとのこと

平成二十年に公益財団法人日本刀文化振興協会の技術研修会に参加し、柄巻きの指導をいただいたから、そろそろ九年になります。もともと家業の手伝いをしてい

た関係で、刀の柄は日ごろから見慣れていたものの、いざ巻きの仕事をしてみると難しいものでした。刀職のどの分野も同じだと思

いますが、昔からの掟やら素材やらがいろいろあつて、道具なども多彩に揃えないと作業ができません。

同協会の刀職技術展覧会で銅賞第二席をいただいたのは、励みになりました。もっと上の賞は、かなり頑張らないと難しいです。

柄巻師でも、早く巻ける人は相対当りですが、私はじっくりと巻く方で、鮫皮を直しながら縁頭との段差を調整しながら、一本の完成に結構な時間をかけてしまひます。

若者広場 24
寄稿 古作も大事にする 柄巻きの仕事を
熊倉純子(柄巻師)

江戶時代の巻き替をしますと、鮫皮を継ぎはぎしながら利用している場面にはしばしば出合います。鮫皮は大変貴重な時代でしたので、古いものを大事にしていた様子がうかがえます。

時代の柄巻きには、再現不可能なのが結構あります。短刀の柄や鞘、一作拵などに鯨のヒゲを利用した

来タル場合「提出スル書面」の上書きがある封筒に入つて、大日本帝国政府の用箋に英文タイプライターで作成された文書が残っている。文意は「東京都西多摩郡大久野村の羽生謙一郎所有の蔵は東京都に公認され、ここには国宝や重要美術品の指定品が収蔵されていることを証明する。一九四五年十二月二十三日 文

戦後史の間はまだ深い。羽生事件の一端を探るはずが、思わぬ脇道に逸れ、その深淵に足を踏み入れてしまったのかもしれない。

H.Konの署名のある文書

23 December 1945.
We hereby attest that the war-house belonging to Mr. Kenichiro Haku of Haku, Okuno Village, Nichitama-gun, Tokyo, was established by the metropolis of Tokyo to keep in store those articles designated by the Government "National Treasures" or as "Important Art Objects".

Head of the Cultural Education Section, Bureau of Social Education, Ministry of Education.

なお、被害に遭つた人物のうち、篠原三千郎氏は東急電鉄社長、井手徳一氏は電力業界人で鍋島焼の収集でも知られ、三矢宮松氏は皇室林野局長官・根津美術館館長、兄重松氏は国文学者・國學院大学教授、板屋胤雄氏は板屋製作所社長である。(土子民夫)

ブック・レビュー BOOK REVIEW

伝統の技が紡いできた和鉄の文化

『鉄のまほろば』山陰たたら里を訪ねて

山陰中央新報社 定価(本体一、五〇〇円十税)

「たたら」という言葉が何を意味するか、われわれはすぐに理解できるが、一般人にはなかなかわかってもらえないのではないかと、たたら製鉄は、粘土で炉を築き、原料の砂鉄と木炭を交互にくべ、ふいごで風を送って燃焼させ、鉄を得る古来の製鉄法、今も未解明の部分が残る神秘の技術である。



山陰地方で最古の製鉄遺跡は六世紀後半、そして十世紀から十一世紀には、伯耆国で安綱が反りのあるいわゆる日本刀の製作を始める。その後山陰地方は最高の鉄資源の下、生産の拠点となり、重要な役割を担っていく。

た、足踏み式の天秤ふいごの発明により送風量が画期的に増え、鉄の増産につながっている。このころからは、たたら製鉄のいろいろが記録されている。松江藩では試行錯誤の末、藩内の有力鉄師九人だけにたたら株を与え、たたら場を十カ所に制限した。これによって藩の保護の下、大鉄師を生み出し、全国一大生産地帯としての地位を確立する。

鉄所の完成などにより、たたら製鉄は生産性の面で洋鉄に太刀打ちできなくなり、大正末年にその炎は一時途絶えた。そんな中、鉄穴流しという砂鉄採取施設の遺構が、きれいな棚田として残っている。その独特の景観を眺めるとき、過去の営々たる仕事の偉大さに胸を打たれる。

山陰地方は、鉄づくりにもつわる人々の営みが作り上げた「まほろば」(素晴らしい場所を意味する古語)であるという認識が、この本の底流を流れている。

なお戦後、良質の玉鋼が枯渇した問題を解決するため、昭和五十二年財団法人日本美術刀剣保存協会が日刀保たたら操業を開始した。こうして、たたらそのものと、日本刀を作る技が過去から現在、そして未来へと受け継がれる。

江戸時代から明治期までの「たたら」というものを多角的に教えてくれる本でした。(持田真宏)

目から鱗が落ちる『研究書』

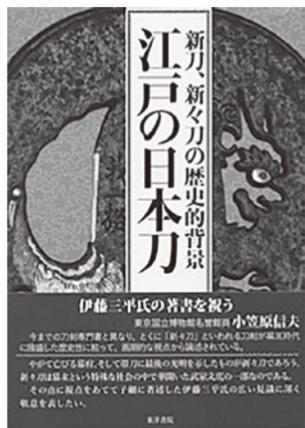
『江戸の日本刀―新刀、新々刀の歴史的背景』

伊藤三平著 東洋書院 三、八八八円(税込)

日本刀に関する書籍類は、昔から数え切れないほど出されている。最も有名なものとしては、古くは鎌倉時代に書かれた『観智院銘』と室町時代後期の『往昔抄』が挙げられる。押形集としては、『光徳刀絵図』『木屋押形』『光山押形』などが知られている。

『日本刀銘鑑』など、刀剣人にとって必携の書籍類がある。これらは刀工の作風や銘字を中心に書かれたものであるが、昨年十二月に出版された『江戸の日本刀―新刀、新々刀の歴史的背景』は前記の書籍類とは異なり、江戸時代の政治・経済・文化・芸術・風俗などさまざまな視点から日本刀を捉え、書かれたものである。

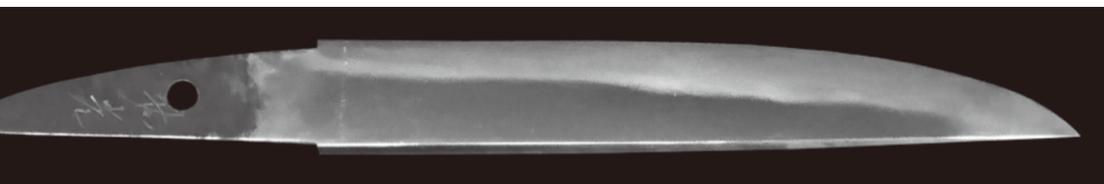
特に水心子正秀に関する箇所は素晴らしい。正秀がなぜ最初に武州下原鍛冶の吉英に入門したかの仮説を立てている。それは本の中で「水心子が居住した当時



このころからは、たたら製鉄のいろいろが記録されている。松江藩では試行錯誤の末、藩内の有力鉄師九人だけにたたら株を与え、たたら場を十カ所に制限した。これによって藩の保護の下、大鉄師を生み出し、全国一大生産地帯としての地位を確立する。

また、江戸初期、地方より数多くの刀工たちが新天地を求めて江戸にきたのは、活気あふれる江戸に需要がたくさんあるだろうと考えたからである。実際、和泉守兼重、大和守安定、虎徹、光平をはじめとする石堂一派、法城寺正弘を筆頭とする法城寺一派など、枚挙に暇がない。

このとき、江戸城も天守閣・本丸・二の丸・三の丸が焼失、大名邸は二百四十家のうち、約七五〇の百六十家が焼け、江戸城に保管されていた名刀は数多く焼けてしまった。これが新規需要をもたらしたのである。



三十三章の中には、われわれの興味深い話が満載されている。この本を読んで刀剣の知識に関し、まさに「目から鱗が落ちる」思いがした。ぜひ読んでほしい一冊である。(賀賀吉也)

將軍警衛を建前として幕府から派遣された浪士組であったが、清河は京に着くや、尊皇攘夷の先駆けとなることを宣言する。その結果、芹沢鴨や近藤勇らは袂を分かち、壬生浪士組から新撰組結成へと向かうのである。

それからは折に触れて取り出し、故人らを偲んでいるが、私も既に老いて余命も少なく、また欲しいものもない。できれば後世、これを見る人たちが多生のよすがと思ってもうえれば望外の喜びである。佐野竹之助は桜田烈士の一人。享年二十一。山岡鉄舟は幕臣として征討大総督府参謀西郷吉之助と駿河において談判し、江戸城無血開城への道を開いた。その後、新政府に出仕し、明治二十一年(一八八八)没、享年五十三。書付の筆者は「和田某」とあるのみで、詳細は不明である。幕末動乱期の裏面史の一面面を垣間見るようで、興味深い。

私が出会った珍品・逸品

赤荻稔

短刀 銘 祐光

長さ13.6cm

刀には当然のことながら、一振一振に刻まれた歴史や物語がある。入手した祐光短刀に毛筆の書付が付されていた。著名な人物名も記されているので、知人に見せたところ、解説してくれた。内容は以下の通りである。

清河はその後、関東の浪士組二百三十四名の長として西上せんとするとき、某樓に宴を張ったが、たけなわに至って取締役山岡鉄舟の夫人の前に伏し、「今回の成否は天のみぞ知る。われわれは元より生還を期してはいない。もし一敗地にまみれば累はごまかで及ぶか計り知れない。その際にはこれで自裁していただきます」と、短刀を差し出した。すると満座が感動に包まれたという。

水戸藩を訪れた清河八郎と国事を論じた際、大いに共鳴し、友人佐野竹之助から贈られていたこの短刀を黙契の証として進呈した。

一方、天皇に上表文を提出し、勅諭を賜った清河ら浪士組は攘夷戦争に備えて東帰する。しかし、幕府にとって最も危険な人物となってしまう清河は、江戸に着いて間もない文久三年(一八六三)四月十三日、刺客・佐々木三郎らによって暗殺されてしまう。享年三十四。明治の世になってしばらくして、筆者は山岡夫人英子刀を根岸の屋敷に訪ねた。往時の思い出話に涙することもしばしばであった。夫人が愁然として言うには、「この短刀は長いこと鏡箱の奥にしまっていました。もはや無用です。清河殿の知友であるあなたにお返ししましょう」と。

清河は、江戸に着いて間もなく文久三年(一八六三)四月十三日、刺客・佐々木三郎らによって暗殺されてしまう。享年三十四。明治の世になってしばらくして、筆者は山岡夫人英子刀を根岸の屋敷に訪ねた。往時の思い出話に涙することもしばしばであった。夫人が愁然として言うには、「この短刀は長いこと鏡箱の奥にしまっていました。もはや無用です。清河殿の知友であるあなたにお返ししましょう」と。

刀剣・小道具・甲冑武具 飯田高遠堂 代表取締役 飯田慶雄 〒161-0033 東京都新宿区下落合3-17-33 TEL 03-3951-3312 FAX 03-3951-3615 http://www.iidakoendo.com

(株)美術刀剣松本 松本 富夫 義行 〒278-0043 千葉県野田市清水199-1 TEL 04-7122-1122 FAX 04-7122-1950 www.touken-matsumoto.jp

美術日本刀・小道具・甲冑 日本刀 伊波賢一 Ken-ichi Inami 〒105-0001 東京都港区虎ノ門3-8-1 TEL 03-3434-4321 FAX 03-3434-4324

銀座 泰文堂 〒104-0061 東京都中央区銀座6-7-16 岩月ビル2階 (株)銀座泰文堂 代表 川島貴敏 TEL 03-3289-1366 FAX 03-3289-1367 http://www.taibundo.com

刀剣 高吉 古名刀から現代刀、御刀のことならお任せください! 連絡先 090-8845-2222 代表者 高吉 吉童 東京都北区滝野川7-16-6 TEL 03-5394-1118 FAX 03-5394-1116 www.premi.co.jp

刀剣業界の情報紙である『刀剣界』では、記事を募集しています。ニュースや催事情報、イベント・レポート、ブック・レビュー、随筆・意見・感想など、何でも結構です。写真も添えてください。組合員・賛助会員以外の方も歓迎です。ただし、採否は編集委員会に諮り、紙面の関係で編集させていただくことがあります。

寄贈者	作品
高松宮宣仁親王	刀 村正
細川 護立	刀 兼氏 (重要文化財)
古川 從純	短刀 清綱 (重要文化財)
木村篤太郎	太刀 兼永 (重要文化財)
	太刀 宗吉 (重要美術品)
	太刀 延吉 (重要文化財)
	短刀 相模守藤原政常 (重要美術品)
尾津喜之助	太刀 真景 (重要美術品)
	太刀 真則 (重要美術品)
	太刀 信房 (重要文化財)
	刀 伝長重 (重要美術品)
	短刀 直脇差 真利 (重要美術品)
藤沢 乙安	太刀 国行 (来) (国宝)
	太刀 国行 (当麻) (国宝)
	太刀 伝正宗 (重要美術品)
	太刀 備前国住人雲次 (国宝)
鈴木 嘉定	太刀 豊後国僧定秀作 (重要美術品)
篠原三千郎	太刀 国安 (重要美術品)

寄贈者	作品
青山 孝吉	太刀 来国俊 (重要美術品)
大槻 孝治	太刀 元真 (重要美術品)
岡野太郎松	太刀 正恒 (重要文化財)
林田 等	太刀 友成 (重要美術品)
ウォルター・コンプトン	太刀 福岡一文字 (重要文化財)
渡辺 国雄	黒漆太刀拵
鈴木 嘉定	金海老茶砂子塗鞘楽寿金具 (重要刀装)
	藍絞鞘九曜紋金具肥後打刀拵 (重要刀装)
	桜皮笛巻塗鞘腰刀拵 (重要刀装)
藤沢 乙安	堅木造四雲文腰刀拵
尾津喜之助	変り塗鞘小さ刀拵
	秋草鹿図拵 (重要刀装)
	三疋猪図小柄 (重要刀装)
細川 護立	兎鍾馗図鐔 (重要刀装)
	張果老図透鐔
ウォルター・コンプトン	眠り布袋図 宮本武蔵筆
飯田国太郎	萌葱絲威胴丸具足

イベント・レポート

「代々木感謝祭 刀剣博物館開館50年にわたる寄贈名品展」 先人に感謝しつつ、贅沢なフィナーレに浸る

太平洋戦争後、進駐軍の武器回収命令によって廃滅の危機に瀕していた日本刀を救い、これらを後世に伝えるために昭和二十三年二月二十四日、財団法人日本美術刀剣保存協会が設立されました。その活動の拠点としての刀剣博物館は、代々木の地に開館して今年で五十周年を迎えました。この間、ここには国内外から多くの方が訪れ、親しまれてきました。

しかし、時を経て建物は老朽化し、耐震性にも不安があることから、墨田区両国に新刀剣博物館を建設することが決まり、今秋には移転の運びとなっています。

そこで刀剣博物館では「代々木感謝祭 開館50年にわたる寄贈名品展」と題して、一月五日から三月三十一日まで特別展を開催しました。会期も残り少なくなった三月半ばのある日、私も取材のために博物館を訪ねました。

会場には国宝の太刀三振、重要文化財の短刀と太刀合わせて七振、重要美術品十二振に加え、甲冑・拵・刀装具など数々の名品が展示されていました。これは今ほじき奇特の方々が寄贈されたもので、幾多の愛刀家の育成に寄与してきたことなのでしょう。

長い間お世話になった当博物館での鑑賞も、これで最後なんだななんて、名残惜しく思いながら一時間ほど過ごし帰ってきました。日本の刀の殿堂であった刀剣博物館のフィナーレを飾るにあつた名品展だったと思います。

新刀剣博物館は江戸東京博物館や両国国技館に隣接し、近くに文化施設も多い好立地です。世界各国からのお客さままで賑わい、一層親しまれる刀剣博物館になることを切に願っています。(生野 正)

展示の新たな試みも好評だった「河内國平展」

展示された父の作品は、太刀、短刀、また柏木重光さんの写真彫という多岐にわたる刀身彫刻、大小刀や冠落造、刺刀など多種にわたる、同会場での二度目の大規模な展示会となりました。昨年初めて刀に触れ、再度ご来訪いただいた方々や、刀剣というものに触れたことのない幅広い年齢層の方々に今回も来ていただきました。

展示方法は、刀剣を縦にすることでライティングに新たな成果も現れました。ご覧になられたお客



展示の新たな試みも好評だった「河内國平展」

また、刀装具をモチーフとしたアクセサリーや、撥鋼(ちりはがね)という名前を付けた刀剣を使用したアクセサリーなど、さまざまなグッズも多くの来場者の方にお手にとりいただきました。

ジュエリーや装飾品を見る感覚と同じように日本刀を鑑賞し、評価していただけただけで、新たな可能性も見えてきました。

期間中には作家の阿川佐和子さんのトークショーも行われ、多くの人に日本刀の魅力を伝えられる展示会となりました。(河内晋平)

「光映日本刀 刀匠河内國平展」開催報告

三月二十九日から四月四日まで、日本橋三越本店本館一階中央ホールにて「光映日本刀 刀匠河内國平展」が開催されました。

展示された父の作品は、太刀、短刀、また柏木重光さんの写真彫という多岐にわたる刀身彫刻、大小刀や冠落造、刺刀など多種にわたる、同会場での二度目の大規模な展示会となりました。昨年初めて刀に触れ、再度ご来訪いただいた方々や、刀剣というものに触れたことのない幅広い年齢層の方々に今回も来ていただきました。

展示方法は、刀剣を縦にすることでライティングに新たな成果も現れました。ご覧になられたお客



野田会25周年大会の交換会

野田会25周年記念筑波大会開く

四月十九日、最高気温が25℃となった春うららかな一日、野田会二十五周年記念筑波大会が茨城県筑波山の江戸屋で開催されました。

約五十名の野田会メンバーが集まり、品物も一千点以上とお盆が足りなくなる大盛況ぶりでした。

一番最初は成り行き(道具類)から始まり、二番目宿成り行き(宿)、三番目一般成り行き、四番目一般成り行き、五番目高額の部では所載の清人の短刀や重要刀剣二振(丹後守金道二代互の目丁子の傑作)も出品され、白熱した会となりました。第一回大会とあって、開催前は少し不安もあったのですが、ふたを開けてみると普段の四倍も出来る大成功となり、宴会の開始が繰り延べになるほどでした。

大会終了後、お客さまにお土産で記念のボールペン、メガネさき、かりん糖饅頭が配られました。会主の松本義行さんの人柄が反映された温かいホスピタリティあふれる大会でした。(杉浦弘幸)



趣ある林原美術館の正門

林原美術館「坂本龍馬展」

岡山の林原美術館で開催された「坂本龍馬展」に行ってきました。

本展は、先行して京都国立博物館で開催され、大盛況でした。会場を刀剣王国の岡山に移して、一月二十日から三月十二日まで開催されました。

今年も龍馬暗殺から五十年の節目の年でもあり、昨今の刀剣女子ばかりでなく、坂本龍馬ファンは全国に根強いことから、さまざま

まな方が会場を訪れていました。中でも注目されたのは、八十六年ぶりに公開されたという龍馬の愛刀、勝光・宗光合作の脇指。入り口の正面に展示されており、インパクト十分。そして、もう一点の目玉が、龍馬の名言「日本を今一度せんたくいたし申候……」と書かれた書簡。その前では多くの方が立ち止まり、熱心に見入っていました。

ほかにも、龍馬暗殺現場にあった血痕のついた掛軸など、その当時の雰囲気を感じさせるものも、とても刺激的な展示がありました。

今回の林原美術館では、龍馬の書簡が特に多く出展されていました。直筆をじっくりとどいていくと、龍馬の息遣いや感情の起伏が感じ取れる思いがしました。多くの方がそんな時間を楽しんでおられたように見受けました。

刀剣と歴史資料のコラボレーションによって、龍馬の生きた時代が実感できる素晴らしい展示会でした。(玉山真敏)



平成会大会の交換会

あたま石亭で平成会大会開く

去る四月十日、桜が満開を迎えている熱海において、毎年恒例の平成会の大大会が開催されました。

現在の平成会の前身である山手会は、故山崎昭氏によって創立されました。例会の会場は、山崎氏が店舗を構えていた高田馬場にある諏訪神社でした。

山手会には後に諏訪会へと名称が変わり、山崎氏が空を去った後さらに平成会と改称されました。交換会の会場も現在の新橋プラザビルへ移りましたが、例会は以前と変わらず毎月十日です。

み石亭は、開業から五十七年とその歴史は比較的浅いですが、石亭というその名の由来通り、何となくとも日本各地より集められた数百の銘石に石灯籠、さらに銘木や流木を配した石庭園が特徴的であり、三千坪を誇る広大な敷地の中に数寄屋造りの離れが点在する閑静なたたずまいは、まさに古き良き日本旅館の伝統を味わうことができます。

そんな深い風情に包まれて開催された大会には、招待客や会員合わせて五十六名が各地から集まり、また三十一名の出品者により多くの品物が寄せられました。

例年に比べると参加者の数が少なく、出品数も心持ち少なめでしたが、それでも大会だけあって日ごろとは少し趣を異にし、多くのうぶ品や名品が出品されました。

十時の開会とともに発句旗合大輔さん、競り新堀徹さんの下、売り物が次々とテンポ良く取引されていきました。成り行き、本番、入札と続き盛況のうちに会が進行し、例年通りの出来高を維持しつつ、今年も無事大会を終了することができました。

山崎昭氏の遺志がこれからも受け継がれ、この平成会が末永く刀剣業界の交流の場としてますます発展していくことを期待しています。(朝倉忠史)

「野田会25周年記念筑波大会開く」

四月十九日、最高気温が25℃となった春うららかな一日、野田会二十五周年記念筑波大会が茨城県筑波山の江戸屋で開催されました。

約五十名の野田会メンバーが集まり、品物も一千点以上とお盆が足りなくなる大盛況ぶりでした。

一番最初は成り行き(道具類)から始まり、二番目宿成り行き(宿)、三番目一般成り行き、四番目一般成り行き、五番目高額の部では所載の清人の短刀や重要刀剣二振(丹後守金道二代互の目丁子の傑作)も出品され、白熱した会となりました。第一回大会とあって、開催前は少し不安もあったのですが、ふたを開けてみると普段の四倍も出来る大成功となり、宴会の開始が繰り延べになるほどでした。

大会終了後、お客さまにお土産で記念のボールペン、メガネさき、かりん糖饅頭が配られました。会主の松本義行さんの人柄が反映された温かいホスピタリティあふれる大会でした。(杉浦弘幸)

紀伊国屋 代表 松浦孝子

〒372-10812
群馬県伊勢崎市連取町一八三六一
TEL 〇二七〇-二六〇七七八
FAX 〇二七〇-二六〇一八七八

「光映日本刀 刀匠河内國平展」開催報告

三月二十九日から四月四日まで、日本橋三越本店本館一階中央ホールにて「光映日本刀 刀匠河内國平展」が開催されました。

展示された父の作品は、太刀、短刀、また柏木重光さんの写真彫という多岐にわたる刀身彫刻、大小刀や冠落造、刺刀など多種にわたる、同会場での二度目の大規模な展示会となりました。昨年初めて刀に触れ、再度ご来訪いただいた方々や、刀剣というものに触れたことのない幅広い年齢層の方々に今回も来ていただきました。

展示方法は、刀剣を縦にすることでライティングに新たな成果も現れました。ご覧になられたお客

あたま石亭で平成会大会開く

去る四月十日、桜が満開を迎えている熱海において、毎年恒例の平成会の大大会が開催されました。

現在の平成会の前身である山手会は、故山崎昭氏によって創立されました。例会の会場は、山崎氏が店舗を構えていた高田馬場にある諏訪神社でした。

山手会には後に諏訪会へと名称が変わり、山崎氏が空を去った後さらに平成会と改称されました。交換会の会場も現在の新橋プラザビルへ移りましたが、例会は以前と変わらず毎月十日です。

み石亭は、開業から五十七年とその歴史は比較的浅いですが、石亭というその名の由来通り、何となくとも日本各地より集められた数百の銘石に石灯籠、さらに銘木や流木を配した石庭園が特徴的であり、三千坪を誇る広大な敷地の中に数寄屋造りの離れが点在する閑静なたたずまいは、まさに古き良き日本旅館の伝統を味わうことができます。

そんな深い風情に包まれて開催された大会には、招待客や会員合わせて五十六名が各地から集まり、また三十一名の出品者により多くの品物が寄せられました。

例年に比べると参加者の数が少なく、出品数も心持ち少なめでしたが、それでも大会だけあって日ごろとは少し趣を異にし、多くのうぶ品や名品が出品されました。

あたま石亭で平成会大会開く

去る四月十日、桜が満開を迎えている熱海において、毎年恒例の平成会の大大会が開催されました。

現在の平成会の前身である山手会は、故山崎昭氏によって創立されました。例会の会場は、山崎氏が店舗を構えていた高田馬場にある諏訪神社でした。

山手会には後に諏訪会へと名称が変わり、山崎氏が空を去った後さらに平成会と改称されました。交換会の会場も現在の新橋プラザビルへ移りましたが、例会は以前と変わらず毎月十日です。

み石亭は、開業から五十七年とその歴史は比較的浅いですが、石亭というその名の由来通り、何となくとも日本各地より集められた数百の銘石に石灯籠、さらに銘木や流木を配した石庭園が特徴的であり、三千坪を誇る広大な敷地の中に数寄屋造りの離れが点在する閑静なたたずまいは、まさに古き良き日本旅館の伝統を味わうことができます。

そんな深い風情に包まれて開催された大会には、招待客や会員合わせて五十六名が各地から集まり、また三十一名の出品者により多くの品物が寄せられました。

例年に比べると参加者の数が少なく、出品数も心持ち少なめでしたが、それでも大会だけあって日ごろとは少し趣を異にし、多くのうぶ品や名品が出品されました。

茨城県鹿嶋市
濃密な少年期を過ごした
「心のふるさと」
赤萩 稔

先般、東京国立博物館において開催された特別展「春日大社一千年の至宝」を、観覧になった方も多



いつでも清水をたたえている鹿島神宮の御手洗池

いと思います。また、NHKで放映された御神剣の復元も話題になりました。その特別展のプロローグが「鹿島立ち」でした。

つまり、春日大社の祭神の一柱である武甕槌尊が常陸国鹿島から鹿に乗って大社を抱く身蓋山の山頂に降り立ったという伝承からの「鹿島立神影図」が多数展示されていた。印象的であった。

私は父の仕事の関係で、その鹿嶋で小学四年生から卒業までの三年間を過ごした。今でも鹿島アントラーズや臨海工業地帯で知られる鹿嶋だが、典型的な門前町で、

当時は神宮を除けばただの寒村であった。神宮のほど近くに官舎があった。

鹿嶋市は茨城県の南東部に位置し、東を鹿島灘、西を北浦と利根川に挟まれた鹿島台地上に位置する。気候は至って温暖である。

鹿島神宮は伊勢神宮、香取神宮とともに「日本三大神宮」と称されている(延喜式神名帳より)。創建は一般に紀元前七世紀ごろと言われているが、神宮側では神武天皇元年を創建年としている。

大和朝廷から蝦夷の平定神として崇敬され、また軍事拠点であったとも言われている。

これは京都や奈良のような観光地としての立地条件には恵まれていないが、静寂なたたずまいを残しており、その存在感は際立っている。広大な境内と神域を擁し、長い歴史を象徴するように巨木が

多く、長い参道は独特な雰囲気を出して、足を踏み入れると別世界に迷い込んだかのような錯覚を覚える。真正正銘のパワーポイントである。

既に半世紀以上も前のことだが、この鹿島神宮が私の遊び場であった。毎日のように境内で野球をやったり、参道を駆け回り、あることか、古来体を清めてから参拝したという御手洗池をアール代わりしていた。

自転車でも二十分も走れば鹿島灘で、大きなハマグリがいくつでも捕れ、イシモチは入れ食い釣れた。北浦に行けば、大ウチギやコイが釣れたし、父について山へ鉄砲撃ちに行くと、ヤマドリやキジが豊富に捕れた。

毎日のように野山を駆け巡り、濃密な三年間を過ごした鹿嶋は、今でも私の心のふるさとです。

旅のつれづれに 2
井伊直虎ゆかりの地へ

仕事で浜松まで行ったので、井伊直虎ゆかりの地へ足を延ばしてきました。

それにしては遠い所だな、という印象です。徳川家康が元龜元年(一五七〇)に入ったという浜松城はJR浜松駅のそばなのだが、そこから遠州鉄道西鹿島線、乗り換えて天竜浜名湖鉄道の気賀駅まで一時間半近くかかってしまいました。気賀駅は浜名湖の北にあり、井伊の国はそこからさらに北に向けてバス便である。

まずは、気賀駅前の「おんな城主直虎 大河ドラマ館」である。予想通り混雑していた。同館の来場者数は昨年、過去最高を記録した「信州上田 真田丸 大河ドラマ館」を上回るペースだという。館内では、パノラマ・シアターでメーキング動画を見たり、出演者の

衣装を見たりしました。

そこからバスに乗り、井伊の国まで行ってみる。井伊家の菩提寺であり、井伊家千年四代の位牌を祀る龍潭寺は、直虎ゆかりの地を巡る際に絶対外せないスポットだ。取材当日も、平日なのに多くの人が押し寄せていた。

井伊直虎が過ごしたとされ、直虎の墓もあり、その面影と井伊家の威光を感じることが出来る。それとともに、ゆっくりと鑑賞したいのが国指定名勝龍潭寺庭園、小堀遠州作の池泉鑑賞式庭園である。

また、左甚五郎の竜の彫刻などもある。

龍潭寺からすぐの所にあるのが「井伊家發祥の井戸」。寛弘七年(一〇一〇)、井伊家の始祖である共保公がこの井戸で生まれたとされる。現在は田んぼの中にポンプとあ

て周りに何も無いが、井伊家の旗印の井桁と家紋の橘はここから始まっている。

もう一カ所、十分ほど歩いた所に、井伊谷城跡がある。小さな城というより岩といった感じである。

考えてみると、井伊家も真田家も土豪出身の武士団の一つにすぎなかったのだなということがよくわかる。井伊家は今川家に何度も潰されそうになりながら、

直政を育て上げ、家康に仕官させ、真田家は昌幸の代に武田・織田・北条・徳川・上杉・豊臣とめぐるしく相手を交えて盟約を結んでみたりという、それぞれ後世にまで残るようなエピソードを残している。そのようにしなければ、生き



残ることはできなかったらどう。大河ドラマは、二年連続で、時代に生きた田舎武士団が、やがて一國一城の主になっていく経過を描いていることが実感されました。(持田具宏)

催事情報

■江戸東京博物館
〒130-0015 東京都墨田区横綱1-4-1 ☎03-3626-9974
https://www.edo-tokyo-museum.or.jp/

2017年NHK大河ドラマ「おんな城主 直虎」特別展 井伊直虎から直政へ

戦国時代、男の名で家督を継いだ「おんな城主」井伊直虎の波乱に満ちた生涯を軸に、駿河の今川、甲斐の武田、三河の徳川と3つの大國に囲まれた遠江の領主井伊氏が、繰り返された謀略や戦いの中でどのように乱世を生きてきたのか、同時代に生きた戦国武将や周辺の人物を通して浮き彫りにします。

長久手の戦や関ヶ原の戦などで武功を上げ、後に「徳川四天王」と称されるほど、家康の天下統一事業に重要な役割を果たしました。直政の彦根藩井伊家創設に至る道程を、井伊家に受け継がれた貴重な美術品・古文書などを紹介します。



■日本橋高島屋
〒103-8265 東京都中央区日本橋2-4-1 ☎03-3211-4111
https://www.takashimaya.co.jp/tokyo/

刀匠 月山貞利展 一魂を鍛つて

奈良県桜井市で作刀する月山貞利刀匠の個展が開催されます。平成2年から数えて9回目となる恒例催事で、リニューアルされた高島屋美術画廊に刀剣・小品合わせて約30点が披露されます。昨年、春日大社式年造替において「金地螺鈿毛抜形太刀」刀身を製作したことはNHKでも放映され、広く注目を集めました。また昨秋の旭日双光章受章も花を添えています。

加藤龍や草花の刀身彫刻を自ら手掛けています。一方、技術の継承にも努め、三輪山麓にある月山日本刀鍛錬道場内では弟子を輩出しています。奈良や大阪、京都の公立博物館・美術館では同家の歴史や作品が広く紹介され、伊勢神宮をはじめとする有名神社や、横綱白鵬関など有名力士に太刀を納めるなど、広く活躍してこられました。

昭和21年生まれの貞利刀匠は、人間国宝だった父貞一に師事。家伝の綾杉肌はもちろん、現在も各伝法に積極的に挑戦しています。また俱利



刀 綾杉肌に松竹梅彫龍

■大阪歴史博物館
〒540-0008 大阪市中央区大手前4-1-32 ☎06-6946-5728
http://www.mus-his.city.osaka.jp/

特別展「大相撲と日本刀」

江戸時代、横綱をはじめとする強豪力士の中には、大名に抱えられ、帯刀を許された者がいました。プロマイドに相当する力士の鎧絵には、帯刀姿の力士を描くものが数多く存在します。大相撲の世界において日本刀は、力士の地位や権威を示す象徴としての役割を果たしており、その中には、歴代の横綱たちが土俵入りで使用した太刀のように、当時の名だたる刀匠によって製作されたものがありました。

とを目的とする展覧会です。併せて、横綱の化粧廻しや相撲絵など相撲関係資料を紹介するとともに、大阪歴史博物館が収集してきた大阪相撲に関する資料も展示し、公益財団法人日本相撲協会の源流の一つである大阪ゆかりの相撲団体の歴史についても触れる機会とします。

本展は、歴代の名横綱が所持した太刀など、大相撲にゆかりのある日本刀にスポットを当てながら、刀匠の技術や刀剣美に加えて、これまで紹介される機会の少なかった、相撲における刀剣の意味や、横綱の歴史に着目し、相撲文化の新たな一面を知っていただくことを目的と



■立花家史料館
〒832-0069 福岡県柳川市新外町1 ☎0944-77-7888
http://tachibana-museum.jp/

特集展示「刀を見る、伝来を知る 柳川藩主立花家の刀剣」

初代藩主・立花宗茂が元和6年(1620)に柳川に再封されて以来、明治維新まで代々柳川藩11万石を治めてきた立花家。江戸時代の立花家は、大名の家格に相応しい刀剣を多数所持していましたが、現在、立花家史料館が所蔵する伝来の刀剣は、20口にも及びません。しかし、これらはどれも立花家にとって重要な意味を持つ刀剣類であり、それぞれの刀にまつわる逸話には、立花家の歴史が映し出されています。

本特集展示では、特に近世大名立花家初代・戸次道雪(鑑連)と、その跡を継いだ宗茂にゆかりの深い刀剣を中心に、柳川藩主立花家に伝来した刀剣をご紹介します。名刀と称される刀剣の機能美を、立花家の歴史と併せてお楽しみください。

会期：4月7日(金)～7月10日(月)

■備前長船刀剣博物館
〒701-4271 瀬戸内市長船町長船966 ☎0869-66-7767
http://www.city.setouchi.lg.jp/token/

テーマ展「戦乱と備前刀」

平安時代から約千年にわたり受け継がれてきた備前刀。中世には鍛冶屋千軒と言われた備前長船。戦国時代には、東の美濃に対して、西の武器庫と呼ばれた備前国。

ある時は豪壮に、ある時は華麗に、またある時は実用本位にと、刀剣も形を変えてきました。備前刀も例外ではなく、むしろその時代に求められたものをいち早く取り入れてきたからこそ、千年の間、刀剣王国の名を保ってきたとも言えます。

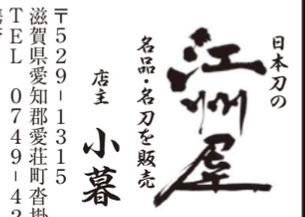
「折れず 曲がらず よく切れる」が日本刀の特徴を表す言葉ですが、時代とともに戦いの形態も変化していきました。時代の世情を反映し、

今回の展示は、備前刀の特徴をその時代の歴史とともに鑑賞していただくとともに、伝統技術を今に伝える美術工芸品としての日本刀に対する理解を深めていただく一助になれば幸いです。

会期：7月8日(土)～8月28日(月) 火曜休館、ただし、8月15日(火)は開館
大阪大相撲之図

「たたら侍」5月20日全国公開

1300年の時を経て現代に伝わる、唯一無二の鉄「玉鋼」を生み出す製鉄技術「たたら吹き」。戦国の末期、その伝統を守ることを宿命づけられた男が、侍にあこがれ旅に出た。後には、その若者を「たたら侍」と呼んだ。一人の誠実な青年が戦乱の世にあらがひ、己の生きる道を探して魂の彷徨を重ねる成長の物語。日本の伝統と、日本人の気高い精神を、美麗で雄大な映像とともに描き出す。それが『たたら侍』である。



監督 / 錦織良成、エグゼクティブ・プロデューサー / EXILE HIRO、主演 / 青柳翔。第40回モンテリオール世界映画祭ワールドコンペティション部門最優秀芸術賞作品。5月20日(土)全国公開。

会期：3月31日(金)～5月24日(火) 月曜休館

日本刀の
名品・名刀を販売
店主 小暮 昇一
〒529-1131 5
滋賀県愛知郡愛荘町香掛80-11
TEL 074-3914-2176
携帯 090-4316-2176
http://www.goushuya-nihontou.com

アオバ企画株
高橋一
〒130-0012
墨田区大平四一九二一三〇八
TEL 〇三三六二二二二二
FAX 〇三三六二二二二二
Eメール aobakk@pb8-so-net.ne.jp